



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月26日

上場会社名 椿本興業株式会社
 コード番号 8052 URL <http://www.tsubaki.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 香田 昌司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 (氏名) 春日部 博
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 06-4795-8806

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	26,285	24.8	1,176	88.4	1,345	65.0	856	57.0
2019年3月期第1四半期	21,064	△7.3	624	△23.2	815	△14.7	545	△16.5

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 350百万円 (△33.7%) 2019年3月期第1四半期 529百万円 (△54.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	136.88	—
2019年3月期第1四半期	87.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	73,265	23,676	32.0
2019年3月期	75,739	24,089	31.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 23,449百万円 2019年3月期 23,876百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	30.00	—	120.00	150.00
2020年3月期	—				
2020年3月期(予想)		30.00	—	90.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※1 2019年3月期の期末配当金には、特別配当30円が含まれております。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	51,000	△4.5	2,650	△6.3	2,800	△7.4	1,850	△9.5	295.47
通期	100,000	△6.9	4,730	△16.8	5,000	△16.9	3,450	△16.0	551.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	6,497,969 株	2019年3月期	6,497,969 株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	237,119 株	2019年3月期	237,030 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	6,260,898 株	2019年3月期1Q	6,261,318 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注記事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	10
・ 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、米中間の貿易摩擦が継続し、世界的な通商に障害がおこる懸念の中、企業業績や雇用情勢は比較的安定した推移を続けております。

このような状況下において、当企業グループでは、比較的好調な業種を中心に国内外での設備投資需要に積極的に対応してまいりました。

この結果、受注高において、前年同期には好調であった半導体関連の設備投資が急減したことに伴い、当社も関連業界からの受注が前年同期に比べ減少いたしました。売上高につきましては、大口の偏光板生産設備が順調に売上計上していることに加え、前期末の受注残高を着実に売上計上していることから、前年同期に比べ大幅に増加いたしました。利益面につきましても、前年同期を大きく上回っております。

当第1四半期連結累計期間の業績は、

売上高	262億85百万円	(前年同期比 124.8%)
営業利益	11億76百万円	(前年同期比 188.4%)
経常利益	13億45百万円	(前年同期比 165.0%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8億56百万円	(前年同期比 157.0%)

となりました。

報告セグメントの業績は以下のとおりです。

東日本本部

北海道・東北・甲信越・関東地区が担当エリアであり、全体の売上高の約30%を占めております。

当第1四半期連結累計期間は、食品、物流関連業界の設備投資需要に寄与したことなどで、その売上高は、77億60百万円（前年同期比105.1%）となりました。

西日本本部

東海・北陸・関西・中国・四国・九州地区が担当エリアであり、全体の売上高の約51%を占めております。

当第1四半期連結累計期間は、液晶画面関連製造装置の大口設備装置が順調に売上計上していることに加え、他の設備装置案件等の売上が寄与したことにより、その売上高は、133億27百万円（前年同期比137.9%）となりました。

開発戦略本部

当企業グループ全体の海外ビジネスやマテリアルビジネスを担当し、それらビジネスの拡大や、制御・センシングビジネスに向けた新商品の開発にも取り組んでいる部門で、その売上高は全体の約19%を占めております。

当第1四半期連結累計期間は、海外子会社については、各国の設備投資需要の増加に伴い、前年同期に比べ売上高が増加いたしました。また、マテリアルビジネスについては、介護・衛生関連商品にかかる不織布や紅茶包装機等の売上を順調に拡大しております。制御・センシングビジネスについても前年同期に比べ着実に売上高を増加させております。これらを合計した売上高は、51億97百万円（前年同期比129.4%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

① 資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は732億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億74百万円減少いたしました。流動資産は18億89百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金が20億16百万円、受取手形および売掛金が10億27百万円減少した一方で、電子記録債権が9億17百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は5億85百万円減少いたしました。主な要因は、投資有価証券の時価が前連結会計年度末に比べ下落したことにより7億77百万円減少したこと等によるものであります。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は495億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億61百万円減少いたしました。これは主に流動負債が20億61百万円減少したことによるものであります。その主な要因は、前受金が23億32百万円、支払手形及び買掛金が9億40百万円減少した一方で、電子記録債務が20億69百万円増加したこと等によるものであります。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産の部は236億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億12百万円減少いたしました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を8億56百万円計上した一方で、配当金の支払い7億51百万円を実施したこと、投資有価証券の時価が前連結会計年度末に比べ下落したことにより、その他有価証券評価差額金が5億43百万円減少したこと等によるものであります。

なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、四半期連結会計期間末日満期手形、電子記録債権及び電子記録債務が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の我が国経済は、海外での貿易摩擦の影響が徐々に波及することが懸念され、また、半導体関連投資の急減により先行き不透明な状況が続くと思われまます。

このような状況下、当企業グループにおいては、既存顧客への新たな商品提案、新規顧客数の増加策、IoTに対応する新商品の開発等を継続的に実践することで、受注獲得に全力をあげる所存です。

先行き不透明な状況下ではありますが、当第1四半期連結累計期間の実績や受注残高の納期推移などを総合的に判断した結果、2019年5月9日公表の業績予想を据え置くことといたします。

(通期連結業績予想)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)
通期	100,000	4,730	5,000	3,450

(第2四半期連結業績予想)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する四半期純利益 (百万円)
第2四半期(累計)	51,000	2,650	2,800	1,850

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,115	16,099
受取手形及び売掛金	30,224	29,197
電子記録債権	10,086	11,003
商品及び製品	2,399	2,498
仕掛品	569	751
その他	2,026	1,994
貸倒引当金	△207	△218
流動資産合計	63,214	61,324
固定資産		
有形固定資産	1,383	1,369
無形固定資産	159	144
投資その他の資産		
投資有価証券	9,875	9,098
長期未収入金	1,359	1,359
その他	1,258	1,479
貸倒引当金	△1,512	△1,511
投資その他の資産合計	10,982	10,426
固定資産合計	12,525	11,940
資産合計	75,739	73,265
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,839	16,898
電子記録債務	23,497	25,566
未払法人税等	1,137	523
前受金	5,800	3,468
役員賞与引当金	11	—
偶発損失引当金	208	208
その他	865	633
流動負債合計	49,359	47,298
固定負債		
退職給付に係る負債	1,829	1,838
長期未払金	213	213
繰延税金負債	27	16
その他	219	221
固定負債合計	2,290	2,290
負債合計	51,650	49,588

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,945	2,945
資本剰余金	1,805	1,805
利益剰余金	16,324	16,430
自己株式	△489	△489
株主資本合計	20,586	20,692
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,456	2,912
繰延ヘッジ損益	△1	△7
為替換算調整勘定	38	49
退職給付に係る調整累計額	△203	△197
その他の包括利益累計額合計	3,289	2,757
非支配株主持分	212	226
純資産合計	24,089	23,676
負債純資産合計	75,739	73,265

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	21,064	26,285
売上原価	17,920	22,440
売上総利益	3,143	3,844
販売費及び一般管理費	2,519	2,668
営業利益	624	1,176
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	149	151
持分法による投資利益	28	7
その他	35	29
営業外収益合計	214	188
営業外費用		
支払利息	0	0
売上割引	15	13
為替差損	1	—
その他	6	6
営業外費用合計	23	20
経常利益	815	1,345
特別利益		
固定資産売却益	—	3
特別利益合計	—	3
税金等調整前四半期純利益	815	1,348
法人税、住民税及び事業税	228	442
法人税等調整額	44	28
法人税等合計	272	470
四半期純利益	542	877
非支配株主に帰属する四半期純利益 又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3	20
親会社株主に帰属する四半期純利益	545	856

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	542	877
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7	△543
繰延ヘッジ損益	6	△5
為替換算調整勘定	△10	16
退職給付に係る調整額	2	6
持分法適用会社に対する持分相当額	△18	△0
その他の包括利益合計	△12	△527
四半期包括利益	529	350
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	535	324
非支配株主に係る四半期包括利益	△6	26

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	東日本 本部 (百万円)	西日本 本部 (百万円)	開発戦略 本部 (百万円)			
売上高						
外部顧客への売上高	7,385	9,661	4,017	21,064	—	21,064
セグメント間の内部 売上高又は振替高	37	184	245	467	△467	—
計	7,422	9,845	4,263	21,531	△467	21,064
セグメント利益	229	431	157	818	△194	624

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	818
セグメント間取引消去	△1
全社費用(注)	△192
四半期連結損益計算書の営業利益	624

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	東日本 本部 (百万円)	西日本 本部 (百万円)	開発戦略 本部 (百万円)			
売上高						
外部顧客への売上高	7,760	13,327	5,197	26,285	—	26,285
セグメント間の内部 売上高又は振替高	22	114	261	398	△398	—
計	7,782	13,442	5,458	26,683	△398	26,285
セグメント利益	337	935	287	1,560	△383	1,176

(注) 各セグメントに属する主要な商品は下記のとおりであります。

セグメント別	主要商品名
東日本本部	変減速機等各種駆動部品、コンベヤチェーン等各種搬送部品、制御機器、各種センサー、電子機器、その他伝動機器
西日本本部	クリーンエネルギー関連設備、医薬関連設備、化学機械装置、水処理装置、食品機械、その他環境装置、工作機械、産業用ロボット、各種コンベヤ、各種自動化装置、立体倉庫及び自動仕分装置、各種輸送装置を含むF Aシステム
開発戦略本部	海外における上記商品 各種不織布及びその加工品、各種合成樹脂成形機及び成形品、機能素材

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,560
セグメント間取引消去	△3
全社費用(注)	△380
四半期連結損益計算書の営業利益	1,176

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. その他

・補足情報

受注、販売及び仕入の状況

① 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期増減比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期増減比(%)
東日本本部	6,805	△38.1	14,418	△11.6
西日本本部	11,636	+5.7	26,870	△2.0
開発戦略本部	4,775	+5.6	5,012	△12.4
調整額	△381	—	△1,824	—
合計	22,835	△11.8	44,477	△6.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期増減比(%)
東日本本部	7,782	+4.9
西日本本部	13,442	+36.5
開発戦略本部	5,458	+28.0
調整額	△398	—
合計	26,285	+24.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 仕入実績

当第1四半期連結累計期間における仕入実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	仕入高(百万円)	前年同四半期増減比(%)
東日本本部	6,742	+4.1
西日本本部	11,671	+36.6
開発戦略本部	4,705	+28.9
調整額	△398	—
合計	22,720	+24.8

(注) 上記の金額は、仕入価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。